

本県の高等学校等における道徳教育の現状と今後の方向性



令和元年10月17日
広島県教育委員会
義務教育指導課

主な内容

- 1 高等学校における道徳教育とは
- 2 本県の高等学校等における道徳教育の現状
- 3 本県の道徳教育の充実に向けて



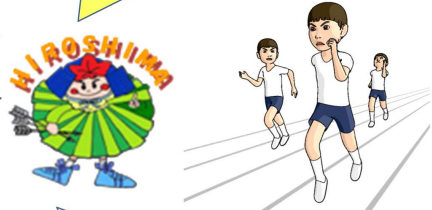
1 高等学校における道徳教育とは

道徳的実践の指導では・・・

順位に関係なく最後まで諦めずに走ろう

希望と勇気, 努力と強い意志

さあ! 今度の体育祭では、がんばりましょう!



仲間で協力して、競技や演技を成功させよう

友情, 信頼

ルールを守って競技しよう

規則の尊重

終わったら、体育祭前よりもグラウンドをきれいにしよう

勤労, 公共の精神

1 高等学校における道徳教育とは

いじめ防止の指導では・・・

仲間を大切にしよう

友情, 信頼

いじめをしてはいけません!

相手の立場を考え、違う考えも受容して聴き合おう

相互理解, 寛容



自分が差別されたらどんな気持ちになるか、考えよう

公正, 公平

縁あって同じ学校, 学級になったのだから、良い学級にしよう

集団生活の充実

日々のスケジュール管理、
体調管理をしっかりと行おう

節度、節制

中庭の花壇を整備したの
で、大切に扱おう

自然愛護

お世話になった地域の方
にお礼状を書こう

感謝

生命を大切にしよう

生命の尊さ



卒業しても自
分らしさを大
切にしよう

個性の伸長

これからの人生、困難が待
ち構えています。希望を
もって生きていこう

よりよく生きる喜び

➡ 道徳教育は全教育活動を通じて行う

全教育活動を通じて行う道徳教育

学校における道徳教育は、人間としての在り方生き方に関する教育を学校の教育活動全体を通じて行うことによりその充実を図るものとし、各教科に属する科目（以下「各教科・科目」という。）、総合的な探究の時間及び特別活動（以下「各教科・科目等」という。）のそれぞれの特質に応じて、適切な指導を行うこと。

日常生活の様々な場面で意図的、計画的に学習の機会を設け、生徒が多様な意見に学び合いながら、物事を多面的・多角的に考え、自らの判断により、適切な行為を選択し、実践するなど、道徳教育の指導内容が生徒の日常生活に生かされるようにすることが大切である。

全教育活動を通じて行う道徳教育



我が校の実態から、「決まりを守る」
ことを大切にしたい・・・。



道徳教育の指導体制と全体計画

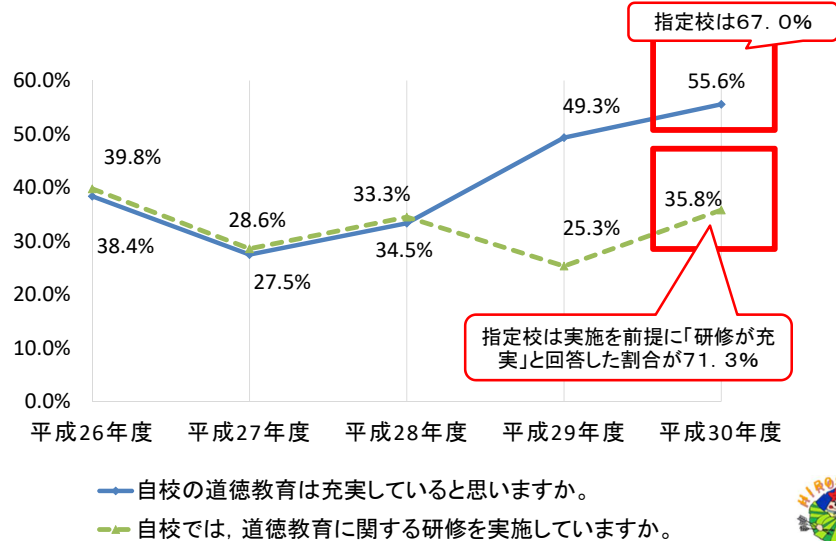
各学校においては、第1款の2の(2)に示す道徳教育の目標を踏まえ、道徳教育の全体計画を作成し、校長の方針の下に、道徳教育の推進を主に担当する教師（「道徳教育推進教師」という。）を中心に、全教師が協力して道徳教育を展開すること。

高等学校の道徳教育の全体計画

- ・人間としての在り方生き方に関する教育の基本的な方針を示す
- ・学校の教育活動全体を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画

2 本県の高等学校等における道德教育の現状

成果 ○ 道德教育に関する取組の推進



平成30年度高等学校道德教育推進協議会アンケート結果



2 本県の高等学校等における道德教育の現状

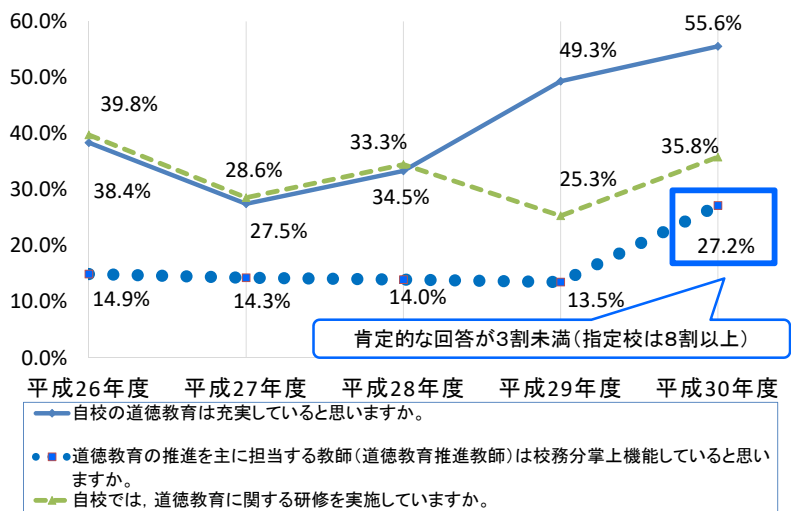
成果 ○ 道德教育に関する取組の推進

アンケート項目	H29	H30
自校では、各教科・科目等で生徒に道德性を育成する視点をもって授業を展開していると思いますか。	44.0	53.8
自校では、家庭・地域社会と連携した道德教育が進められていると思いますか。	44.0	52.5

平成30年度高等学校道德教育推進協議会アンケート結果

2 本県の高等学校等における道德教育の現状

課題 ○ 道德教育推進教師を中心とした協力体制づくり



平成30年度高等学校道德教育推進協議会アンケート結果



2 本県の高等学校等における道德教育の現状

課題 ○ 全体計画の活用

アンケート項目	H29	H30
自校の道德教育の全体計画は機能していると思いますか。	37.3	44.4

肯定的な回答が5割未満

平成30年度高等学校道德教育推進協議会アンケート結果

本県の道德教育の成果と課題

成果

○ 道德教育に関する取組の推進

課題

- ① 道德教育推進教師を中心とした協力体制づくり
- ② 全体計画を機能させるための手立て

① 道德教育推進教師を中心とした協力体制づくり

校長の方針の明確化

校長は、その指導力を発揮し、学校の道德教育の**基本的な方針を全教師に明確に示す**ことが必要である。

校長が道德教育の方針を明示することにより、全教師が道德教育の重要性についての認識を深めるとともに、**学校の道德教育の重点や推進すべき方向について共通に理解し、具体的な指導を行うことができる。**

道德教育推進教師の役割の明確化

- ・ 道德教育の指導計画の作成に関すること
- ・ 全教育活動における道德教育の推進、充実に関すること
- ・ 道德教育用教材の整備・充実・活用に関すること
- ・ 道德教育の情報提供や情報交換に関すること
- ・ 道德教育の全体計画の公開など家庭や地域社会との共通理解に関すること
- ・ 道德教育の研修の充実に関すること
- ・ 道德教育の全体計画の評価に関すること など

① 道德教育推進教師を中心とした協力体制づくり

～広島県立沼南高等学校の取組例～

沼南高等学校の『育てる生徒像』	
<p>学校経営計画</p> <p>歴史と伝統を継承しつつ、時代や社会の変化を柔軟に受け止めながら、地域や社会の発展に貢献する自立した人材を育成する。</p> <p>①互換性・発展性を持つ、きめ細かに展開できる学校</p> <p>②3学科(普通・家庭・職業デザイン)の特色を活かし、生徒が主体的にチャレンジする学校</p> <p>③自分を大切にし、他人を大切にできる人間が育つ学校</p>	<p>育てる生徒像 自分を大切にし、地域と社会に貢献する生徒</p>
<p>●沼南生に付けた力</p> <p>・学力(基礎学力・常識)</p> <p>・実践力(思考力・判断力)</p> <p>・社会性(協調性・ルール・挨拶)</p> <p>・自己管理能力</p>	<p>●育てる生徒像の達成</p> <p>※学校経営計画の学校目標、沼南生に付けた力をまとめた文言</p> <p>※道德教育の目標も込める</p> <p>※「自分を大切に」「道徳目標、ルールや時間を守る、挨拶、生徒指導部、自己指導力、等の意味を含む</p> <p>※「地域と社会に貢献」→学力、社会性、チャレンジする意欲、自立、等の意味を含む</p>
<p>●各教科において生徒に付けた力</p> <p>・基礎を以て学び、論理的に考え、他者との円滑なコミュニケーションをはかる力。</p>	
<p>国語</p> <p>・地理や歴史、現代社会の諸事象を考察するために必要な基礎的な事項を理解しよとする力。</p> <p>・基礎的な事項を以て科学的に判断しよとする力。</p> <p>・国際社会に生きる公民として主体的に行動しよとする力。</p>	
<p>数学</p> <p>・論理的思考力を身に付け、既知の事項を未知の事項にあてはめて問題解決ができる力。</p>	
<p>理科</p> <p>・自然科学の基本的な知識を理解する力。</p> <p>・観察・実験に主体的に取り組む力。</p> <p>・日常生活と関連した事象を科学的に探究する力。</p>	
<p>保健</p> <p>・ルールを守り、協力してスポーツをすることができる力。</p> <p>・周囲の人の気持ちから考え、楽しくスポーツをすることができる力。</p> <p>・自己有用感を持つ力。</p> <p>・自己指導能力(保健)。</p>	
<p>芸術</p> <p>・豊かな感性と表現力を持った、主体的に行動する力</p>	
<p>英語</p> <p>・英語を使って、コミュニケーションができる基礎的な力。</p> <p>・英語を通して、情報を収集できる力。</p> <p>・英語で表現できる力。</p>	

夏季休業中の校内研修

全教員でカリキュラム・マネジメントの研修をした後、「育てる生徒像」の実現に向けた、教務、学年、教科の各主任等による取組の見直し

道德教育もカリキュラム・マネジメントも同じだと感じた。

育てる生徒像がはっきりしないといけないと思った

② 全体計画を機能させるための手立て

全体計画の意義

- (ア) 人格の形成及び国家、社会の形成者として必要な資質の育成を図る場として学校の特色や実態及び課題に即した道德教育が展開できる
- (イ) 学校における道德教育の重点目標を明確にして取り組むことができる
- (ウ) 「人間としての在り方生き方」を目標に掲げる公民科の「公共」及び「倫理」並びに特別活動の中核的な指導の場面としての位置付けや役割が明確になる
- (エ) 全教師による一貫性のある道德教育が組織的に展開できる
- (オ) 家庭や地域社会との共通理解を深め、保護者や地域住民の協力を可能にする

② 全体計画を機能させるための手立て

ア 基本的把握事項

・教育関係法規の規定、時代や社会の要請や課題、教育行政の重点施策

・学校や地域の実態と課題、教職員や保護者の願い

イ 具体的計画事項

・学校の教育目標、道德教育の重点目標、各学年の重点目標

・各教科・科目、総合的な探究の学習の時間及び特別活動などにおける道德教育の指導の方針及び内容

・特色ある教育活動や豊かな体験活動における指導との関連

・ホームルーム、学校の人間関係、環境の整備や生活全般における指導の方針

・家庭、地域社会、関係機関、小学校・中学校・特別支援学校等との連携の方針

・その他

全体計画の内容

② 全体計画を機能させるための手立て

全体計画作成上の創意工夫と留意点

(ア) 校長の明確な方針の下に道德教育推進教師を中心として全教師の協力・指導体制を整える

(イ) 道德教育の特質を理解し、教師の意識の高揚を図る

(ウ) 各学校の特色を生かして重点的な道德教育が展開できるようにする

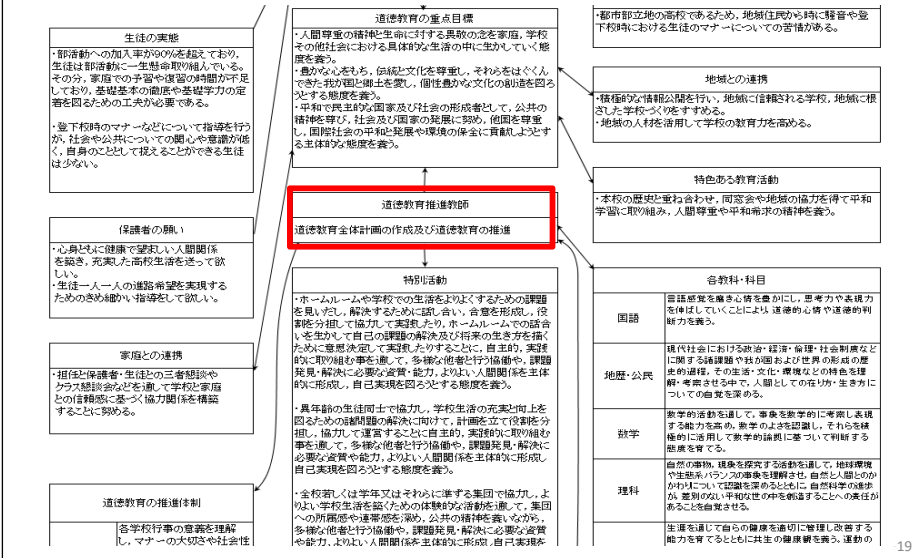
(エ) 学校の教育活動全体を通じた道德教育の相互の関連性を明確にする

(オ) 生徒の実態を踏まえ、保護者及び地域の人々の意見を活用することや、学校間交流、関係諸機関などとの連携を心掛ける

(カ) 計画の実施及び評価・改善のための体制を確立する

② 全体計画を機能させるための手立て

～広島県立観音高等学校（全日制）の例～



② 全体計画を機能させるための手立て

～山梨県立日川高等学校の取組例～

山梨県立日川高等学校

学校教育全体における道德教育の検証、改善・充実を図った事例

従来から伝統的な学校行事（新入生オリエンテーション、遠歩大会など）を中心に特別活動や部活動が活発に行われていたが、生徒たちがどのように取り組み、効果を上げ、影響を与えているかなどが明らかでなかったため、活動を検証し改善・見直しを図った。

・全教職員による見直し作業
全教職員参加の調査により、当該生徒にみられる道徳性、今後さらに指導を行い身につけさせたい道徳性を明確化。道德教育の必要性、今後の方針を共有。

・生徒の在り方生き方についての意識を把握
中学校学習指導要領解説を参考に作成、「集団や社会との関わりに関すること」を課題として把握。

・「1人1指導案1実践」による授業内実践
各教科・科目の日頃の授業実践に道德教育の視点（→右表）

・「1部活1ボランティア」
部活動ごとに、幼児への体育指導、地域の水質調査への協力などの地域ボランティアを実施

・ホームルーム活動と総合的な学習の時間の活用
LHRにおいて話し合い活動が少ない現状を踏まえ、クラス内の他者理解を中心に計画、LHRと総合的な学習の時間の2時間を1セツトとし、前・後期各1回（3年生前期のみ）

・校長講話を利用した道德教育
校長が全校集会（夏・冬休業前集会）で話した内容を教室に戻り振り返る。（講話を簡潔にまとめ、学んだこと・印象に残ったこと、抱負や目標・努力したいことは何かを記述。）

・道德教育全体計画を保護者に配布、外部講師の講演会に保護者も参加

主観名(教科名)・内容	ねらい
国語 友情と恋愛(夏目漱石「こころ」)→友情の優さを理解してから信頼できる友達を求め、互いに励まし合い、高め合う。	同じ女性に恋愛感情を抱いた友人同士は、友情と恋愛のどちらを重視及び尊重するかが望ましく、について考える。
地理 自然環境と防災 → 自然環境、生命尊重、公徳心・社会連帯	自然を愛護し、畏敬の念を見出す。また、生命の尊さを理解しかけがえない自他の生命を尊重する。
公民 青年期の意識と自己形成の課題 → 自己の再認識、在り方生き方、友の大切さ	悩みという視点から、自己を見つめ、充実した生き方を模索する。悩みを指でできる仲間との信頼や友情を深めることの大切さに気づく。
数学 誕生日問題を考える(確率) → 他者理解	自分の考えをまとめ発表することができる。また、他者の意見を認め、お互いを高め合うことができる。
理科 いろいろな遺伝現象、性染色体と性決定 → 生命尊重、自然現象の理解	ヒトは、親から受け継いだ遺伝的性質が一人一人て異なることを知り、各々がかけがえない存在であることを理解する。
保健 自分の心を知る → 健康	自分の心を知ることで、感情コントロールが意識できるようになる。
体育 ベースボールで自分の心身へ → 自己の向上	運動が脳のホルモんに影響することや理解し、感情コントロールの一つの方法として日常生活に少くも活用できるようにする。
家庭 育つ育てる・育ち合う関係 → 命をほぐくむこと、命の重さ、命への責任	人間関係の大切さ、生命の尊さを理解し、かけがえない自他の生命を尊重する。
情報 無料なら配っていいもの? (著作権・音楽配信) → 正義、社会の秩序と規律	情報を発信するに当たっての責任について考えさせる
芸術 追記し続ける価値 → 自己を見つめ、個性を伸ばし、理想の実現、個性尊重、他者理解	理想を追求し、努力し続けることの価値と、人とのつながりの大切さについて考えさせる

平成28年6月9日中央教育審議会教育課程部会考える道德への転換に向けたWG 資料4

○ その他

高等学校においては、生徒の発達の段階に対応した指導の工夫が求められることや小・中学校と異なり道德科が設けられていないことから、学校の教育活動全体を通じて行う道德教育の指導のための配慮が特に必要



高等学校における人間としての在り方生き方に関する教育は、学校の教育活動全体を通じて各教科・科目、総合的な探究の時間及び特別活動のそれぞれの特質に応じて実施するものである。特に公民科に新たに必修科目として設けた「公共」及び新たに選択科目となった「倫理」並びに特別活動にはそれぞれの目標に「人間としての在り方生き方」を掲げており、これらを中核的な指導の場面として重視し、道德教育の目標全体を踏まえた指導を行う必要がある。

○ その他

～広島県立宮島工業高等学校の取組例～

平成30年度
第2学年 公民科（現代社会）



「D 生命の尊さ」
自他の存在を大切に思い、人の命を大切にするためには自分はどのような生き方をすればいいのかを考える。また5人の人物の生き方から、人のために働くことのすばらしさを考える。

道德教育の視点

「C 郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」
地域社会の文化を再発見し、文化形式にふれることによって地域社会の成員としての公共性を身に付けさせる。



令和元年度
第3学年 地理歴史科（日本史A）

日常生活で、生徒同士が多様な意見に学び合い、物事を多面的・多角的に考え、自ら判断して、適切な行為を選択し、実践できるよう、取り組んでいきましょう！！



○ 道德教育推進教師を中心とした協力体制づくり

○ 全体計画を機能させるための手立て